



2009年市政10大ニュース



鳥取市の平成21年はどんな年だったでしょうか？
 昨年12月2日、この年にあったさまざまな出来事の中から、自治会や経済団体など各分野の代表者、マス

コミ関係者、市議会議員、市長など11人が市政10大ニュースを選考しました。
 問い合わせ先 市役所本庁舎秘書課広報室 ☎(0857) 20-3159

1位 「2009鳥取・因幡の祭典開幕」「世界砂像フェスティバル」でオープニングを飾る

2009鳥取・因幡の祭典が、鳥取県東部1市4町を舞台に開幕。開幕記念式典には、常陸宮両殿下をお迎えしました。オープニングイベントとして、世界砂像フェスティバルを鳥取砂丘オアシス広場で4月18日から5月31日まで開催。運営には、自治連合会ほか多くの市民ボランティアの協力を得て、市を挙げて取り組みました。期間中352,484人の来場者を迎えました。



2位 鳥取自動車道智頭IC～河原ICが3月に開通 山陰自動車道の事業化が決定

国土交通省が新直轄方式により整備を進めてきた鳥取自動車道（鳥取～佐用間62.3㎞）のうち、智頭IC～河原IC間の15㎞が3月14日に開通しました。今年3月にはさらに鳥取ICまで開通する予定です。また、山陰自動車道の瑞穂～青谷間（6.4㎞）が昨年3月に事業化決定しましたが、新政権下で開通に暗雲が立ちこめています。



3位 「日本のまつり・2009鳥取」、全国自治連合会鳥取大会ほか全国大会を数多く開催

「日本のまつり・2009鳥取」が全国から有名な地域の伝統芸能や祭りが一堂に会する中、因幡の伝統芸能を強力にアピール。そのほか、11月に「全国自治連合会鳥取大会」「鳥取自動車道開通記念全国街道交流会議第7回全国大会」「第7回スローライフサミット全国都市会議」といった全国規模の大会が、相次いで開催されました。



4位 山陰海岸ジオパークが「世界ジオパークネットワーク」の国内候補地に

山陰海岸ジオパークは、昨年10月に開催された「第6回日本ジオパーク委員会」において、国内候補地に選定されました。それを受け、同年12月1日に庁内に「ジオパーク推進室」を設置し、体制を強化しました。また、同日、世界ジオパークネットワークに申請する書類を日本ジオパーク委員会に提出しました。



5位 市制施行120周年・合併5周年を記念し、新たに3氏を名誉市民に

明治22（1889）年の市制施行から本年で120周年、平成16年の市町村合併から5周年を迎えました。これを記念して、古田貞氏、岡野貞一氏、遠山正瑛氏の3氏を新たに鳥取市名誉市民として決定しました。また、



昭和33年に制定された市民憲章が、51年ぶりに新たに制定されました。さらに、市制施行以来、本市に功績のあった偉人を紹介する人物誌「きらめく120人」を刊行しました。

6位 砂像のまち・とっとりをアピール 砂の美術館第3期、駅前砂像、大阪砂像

第3期「砂の美術館」がシルバーウィークにあわせて開幕しました。また、鳥取駅前での砂像コンテストのほか、白兔神社やマリニピア賀露にも砂像を設置。さらに今年3月の鳥取自動車道の鳥取側全線開通を迎え、時間的に短縮が図られる関西圏で、一昨年に引き続き、鳥取の砂を使って砂像を制作しました。



7位 新型インフルエンザ流行で各種対策を実施 県の警報発令を受けてさらに対策を強化

新型インフルエンザの世界的な流行により、感染拡大に備えて、防護服・消毒薬などの備蓄資材の補充、相談窓口の専用電話の設置など各種対策を実施しました。10月に入って感染が拡大し、11月下旬には警報が発令。市内小中学校で学級閉鎖が相次ぎました。市立病院では、施設改修、装備の充実など、対策を強化しました。

8位 鳥取方式による公園などの芝生化が全国で注目 「はだしであそべる公園づくり」

平成20年度から、市民の手で公園を芝生化する「はだしであそべる公園づくり」事業を実施。これまでに13公園、総面積1万4300平方メートルの芝生化を行いました。「鳥取方式」による芝生化は安価で維持管理がしやすく、全国的に評判となり、数多くの視察者が訪れました。



9位 「鳥取市商店街スーパープレミアム付き商品券を発行

緊急地域経済対策として、鳥取市商店街連合会が実施主体となり「鳥取市商店街スーパープレミアム付き商品券」を第1弾・第2弾と発行しました。第1弾の発行総額は6億円で、約2億5500万円の新たな消費刺激効果を生みました。第2弾は発行総額を12億円に拡大。生活支援と消費喚起による地域経済の活性化を促しました。

10位 鳥取市文化芸術振興条例を制定 「芸術の出前講座」が5周年を迎える

昨年3月に鳥取市文化振興条例が制定されました。本市の文化芸術振興の基本理念を明らかにし、総合的かつ効果的な推進を図ります。また、文化団体と学校が連携し、地元の芸術家を学校に派遣して楽しく文化芸術を体験する「文化芸術の出前講座」が5周年を迎えました。



鳥取で「田舎暮らし」はじめませんか 移住定住体験施設完成

問い合わせ先 鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口(市役所本庁舎3階地域振興室内)
☎ 0120-567-464 ☎ (0857) 21-1594

田舎への移住や、二地域居住をお考えのみなさんのために、鳥取の田舎暮らしを体験できる施設「移住定住体験施設」を整備しました。

施設の所在地は、鹿野町今市の湯川住宅団地。その地名のとおり温泉がわき、施設のお風呂では温泉が使えます。周りには農村が広がり、農林漁業や温泉めぐり体験を楽しみながら、本市の気候風土を体感していただくことができます。県産材をふんだんに使った木造住宅の木の香りを楽しんでください。

この機会に、鳥取暮らしを考えてみませんか？

【移住定住体験施設利用案内】

施設の所在地 鳥取県鳥取市鹿野町今市 151 番地

利用料金 1 カ月 52,500 円

※その他、保証金（利用料金3カ月分）がかかります。

施設の間取り

タイプ1 瓦ぶき木造一戸建て（2階）3LDK：1棟

タイプ2 瓦ぶき木造一戸建て（平屋）2LDK：1棟

利用対象者

- ・鳥取市への定住を検討している人
- ・鳥取県外に在住の人

利用できる期間 3 カ月～1 年間

募集期限 2 月 15 日（月）まで

※詳しくは上記にお問い合わせください。

移住定住体験施設のある鳥取市鹿野町の湯川住宅団地



移住定住体験施設（2階建てタイプ）

<空き家を募集しています>

鳥取市への定住を希望し、住宅を求める人が非常に多くなっていますが、情報提供できる空き家が不足しています。市内に賃貸・売買が可能な空き家を所有されている人は、ぜひ情報をご提供ください。

【空き家提供の条件】

- 空き家のリフォームは、原則として、所有者の許可を得た範囲で、入居者が行います。

鳥取・国府地域 防災無線第3期運用開始

問い合わせ先 市役所本庁舎危機管理課 ☎ (0857) 20-3127

運用開始予定地域について

●第3期運用開始時期 2月1日（月）

●屋外拡声子局の運用開始地区

豊実、明治、松保、大郷、吉岡、米里、津ノ井、若葉台、国府（あおば、宮下、谷、成器、大茅）

放送内容

●災害時

さまざまな災害情報をお知らせするとともに、津波警報などの場合はサイレンを鳴らして注意を促します。

災害種別	放送区域	サイレン
地震情報、大雨・洪水警報	市全域	
避難勧告・指示	対象地域	○
人命などに関わる緊急情報	対象地域	
全国瞬時警報システム (J-ALERT) ※	市全域	○

※国（消防庁、気象庁）が発信する国民保護情報、地震津波情報などを受信し、直接防災無線から放送す

ることができます。放送の種類は次のとおりです。

- ・武力攻撃、大規模テロなど緊急対処の情報
- ・震度4以上の地震が発生すると予測される場合の速報（緊急地震速報）
- ・津波注意報・警報の速報、地震発生時の震度速報（震度4以上）

【放送を聞き逃した時は、次の方法で内容を確認できます】

◇電話で確認 ☎ (0857) 21-6100

自動電話応答装置により放送内容を確認できます

◇ケーブルテレビで確認

- ・N C N アナログ 13Ch デジタル 017Ch
- ・びよんびよんネット アナログ 2Ch デジタル 11Ch

●平常時

毎日、定時にミュージックチャイムを流します。昼「ふるさと」 夕方「夕焼け小焼け」

	期間	昼	夕方
夏時間	4/1～9/30	12:00	18:00
冬時間	10/1～3/31	12:00	17:00